

2025年4月15日

各位

三井住友トラストグループ株式会社
三井住友信託銀行株式会社

GCM Grosvenor Inc.グループとの業務提携、
それに伴う同社運営ファンドへの投資および同社株式の取得について

三井住友トラストグループ株式会社(取締役執行役社長(CEO):高倉 透)の連結子会社である三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「三井住友信託銀行」)は、米国の資産運用会社である GCM Grosvenor Inc. (NASDAQ:GCMG) (以下、「GCM」)と戦略的パートナーシップの締結を行い、GCM グループが運営する EMP(※1)ファンドへの投資を実行し、さらに GCM 株式の一部取得に係る契約を締結しましたのでお知らせいたします。

1. 本取り組みの概要

GCM グループは米国シカゴを本拠地とし、オルタナティブアセット等の運用において、約 800 億米ドルの運用資産を有する世界的なアセットマネージャーです。三井住友信託銀行では、GCM グループと 2016 年以来、プライベートエクイティやインフラストラクチャー等の投資機会を投資家へ提供するビジネスで協働してきました。今般、運用商品の共同開発等を通じた関係性をさらに深化させることにより、投資家のニーズに即したプライベート資産運用サービスの提供強化・拡充を図っていきます。

両社の戦略的パートナーシップの定量的な目標として、2030 年までに、15 億ドル以上の共同運用残高獲得を目指します。

第一弾の取り組みとして、三井住友信託銀行は 2024 年内に、GCM グループが運用するプライベートエクイティ領域における新興マネージャーを対象とした EMP ファンドに対し、1 億ドル(約 150 億円)の投資を実行いたしました。投資モニタリング等を通じて新興マネージャーへのリーチを拡大し、三井住友信託銀行のゲートキーパー業務(※2)におけるソリューション拡大を目指します。

加えて、両社のパートナーシップを強固にするため、三井住友信託銀行は GCM 株式 5,000 万米ドル相当(約 75 億円、持分比率 5%未満)の取得に係る契約を締結しました。

2. 背景

当グループは、「託された未来をひらく」をパーパスとして掲げ、幅広い信託機能を活用して資金・資産・資本の好循環を実現し、社会の新たな価値の創出に取り組んでいます。

資産運用ビジネスでは、自律的な運用力の向上を進めるとともに、2023 年 12 月に設定した最大 5,000 億円(累計)の「資産運用戦略投資枠」を活用し多様で実力ある運用会社とパートナー化を進めており、この取り組みの一環として本投資を実行します(※3)。当グループは多彩な運用機能を有するアジア最大級の資産運用グループとして、ゲートキーパー機能等を通じ投資家のニーズに応じた運用商品を提供しており、GCM グループのグローバルなファンドマネージャーネットワークを通

じて、当グループ自身の商品提供力に磨きをかけながら、将来的には海外プライベートアセットのインハウス運用ケイパビリティを拡張・獲得していきます。

(ご参考)GCM Grosvenor Inc.の概要

名称	GCM Grosvenor Inc.
代表者	Michael J. Sacks
設立	2020年(非公開会社としての創業は1971年)
所在地	アメリカ合衆国・シカゴ
資産運用残高	約800億米ドル
従業員数	549人(2024年12月31日時点)
ウェブサイト	gcmgrosvenor.com

(※1)エマージングマネージャーズプログラム

(※2)主に、信託契約に基づく運用業務として、国内外のファンドの選定、モニタリング、レポート等提供を行うこと

(※3)三井住友トラストグループの資産運用ビジネス高度化の取り組み方針について、[2023年12月22日付ニュースリリース](#)ご参照

以上